

## 国語ファイナル——知識の総まとめ

### 本書の特色と使い方

○本書は、近年の中学入試を研究し、受験生にとって必要十分な国語知識分野の内容を全15課にまとめています。

○入試本番までに三々四回くり返すことができるよう、計画的に学習を進めましょう。答えはノートに書きましょう。

○各問の答えがすぐ下にのせられていますので、下敷きなどで答えを隠しながらやり、できなかったものは問題上部の□にチェックをしておきましょう。

○1～12課においては、最重要項目をAランク（★印がついているものです）、重要項目をBランクとしています。

○別添の確認テストは、各単元にI～IIIの三種類あり、IはAランクからの出題、IIとIIIは全範囲からの出題となっています。

### もくじ

1	漢字の読み（熟語）	2
2	漢字の読み（送りがなのあるもの）	11
3	漢字の書き取り（熟語）	15
4	漢字の書き取り（送りがなのあるもの）	28
5	同音異義語	32
6	同訓異義語	53
7	四字熟語	62
8	類義語	69
9	反対語	72
10	慣用句	76
11	ことわざ・故事成語	83
12	大切な語句	90
13	主語・述語・修飾語	104
14	助動詞・助詞の用法	111
15	敬語	117

# 1 漢字の読み (熟語)

次のことばの読み方をひらがなで答えなさい。

## Aランク

★□安否 ( )	あんぴ
★□一切 ( )	いっさい
★□一矢 ( )	いっし
★□意図 ( )	いと
★□引率 ( )	いんそつ
★□有頂天 ( )	うちょうてん
★□有無 ( )	うむ
★□会得 ( )	えとく
★□悪寒 ( )	おかん
★□画一 ( )	かくいつ
★□画期的 ( )	かつきてき
★□神業 ( )	かみわざ
★□甲板 ( )	かんぱん
★□生糸 ( )	きいと
★□形相 ( )	ぎょうそう
★□禁物 ( )	きんもつ
★□久遠 ( )	くおん

★□句読点 ( )	くとうてん
★□功德 ( )	くどく
★□工面 ( )	くめん
★□供養 ( )	くよう
★□軽率 ( )	けいそつ
★□境内 ( )	けいだい
★□解熱 ( )	げねつ
★□仮病 ( )	けびょう
★□強引 ( )	ごういん
★□格子 ( )	ごうし
★□強情 ( )	ごうじょう
★□光明 ( )	こうみょう
★□功名 ( )	こうみやう
★□極意 ( )	ごくい
★□心地 ( )	ここち
★□声色 ( )	こわいろ
★□建立 ( )	こんりゅう
★□最期 ( )	さいご
★□早速 ( )	さつそく
★□殺風景 ( )	さつぷうけい
★□賛否 ( )	さんび
★□直筆 ( )	じきひつ
★□至難 ( )	しなん
★□成就 ( )	じょうじゆ

★□精進（  
 ★□定石（  
 ★□性分（  
 ★□仕業（  
 ★□素直（  
 ★□世間体（  
 ★□殺生（  
 ★□折半（  
 ★□雑木林（  
 ★□相殺（  
 ★□率直（  
 ★□貸借（  
 ★□大豆（  
 ★□反物（  
 ★□知己（  
 ★□重宝（  
 ★□対句（  
 ★□通夜（  
 ★□手際（  
 ★□納得（  
 ★□音色（  
 ★□脳裏（  
 ★□非業（  
 ★□貧富（  
 ーの死

しょうじん  
 しょうせき  
 しょうぶん  
 しわざ  
 すなお  
 せけんてい  
 せつしょう  
 せつぱん  
 ぞうきばやし  
 そうさい  
 そつちよく  
 たいしゃく  
 だいず  
 たんもの  
 ちき  
 ちようほう  
 ついく  
 つや  
 てぎわ  
 なつとく  
 ねいろ  
 のうり  
 ひごう  
 ひんぷ

★□無精（  
 ★□平生（  
 ★□発足（  
 ★□迷子（  
 ★□無造作（  
 ★□面目（  
 ★□遺言（  
 ★□遊説（  
 ★□養生（  
 ★□律義（  
 ★□留守（  
 ○特別な読み方をするもの  
 ★□小豆（  
 ★□意気地（  
 ★□田舎（  
 ★□夏至（  
 ★□五月雨（  
 ★□時雨（  
 ★□支度（  
 ★□竹刀（  
 ★□若干（  
 ーがない

ぶしょう  
 へいぜい  
 ほつそく  
 まいご  
 むぞうさ  
 めんぼく  
 （めんもく）  
 ゆいごん  
 ゆうぜい  
 ようじよう  
 りちぎ  
 るす  
 あずき  
 いくじ  
 いなか  
 げし  
 さみだれ  
 しぐれ  
 したく  
 しない  
 じゃつかん

★  素人 ( )  
 ★  師走 ( )  
 ★  出納 ( )  
 ★  七夕 ( )  
 ★  梅雨 ( )  
 ★  名残 ( )  
 ★  日和 ( )  
 ★  風情 ( )  
 ★  土産 ( )  
 ★  息子 ( )  
 ★  眼鏡 ( )  
 ★  八百屋 ( )  
 ★  浴衣 ( )  
 ★  行方 ( )  
 ★  若人 ( )

色―で見る

しろうと  
 しわす  
 すいとう  
 たなばた  
 つゆ  
 なごり  
 ひより  
 ふぜい  
 みやげ  
 むすこ  
 めがね  
 やおや  
 ゆかた  
 ゆくえ  
 わこうど

B  
ランク

相性 ( )  
 家路 ( )  
 遺失物 ( )  
 一目散 ( )  
 一律 ( )  
 一緒 ( )  
 一対 ( )  
 内訳 ( )  
 上背 ( )  
 笑顔 ( )  
 会釈 ( )  
 得手 ( )  
 往生 ( )  
 往来 ( )  
 屋外 ( )  
 汚点 ( )  
 面長 ( )  
 恩恵 ( )  
 改札 ( )  
 家屋 ( )  
 画策 ( )

あいしょう  
 いえじ  
 いしつぶつ  
 いちもくさん  
 いちりつ  
 いっしょ  
 いっつい  
 いんねん  
 うちわけ  
 うわぜい  
 えがお  
 えしやく  
 えて  
 おうじょう  
 おうらい  
 おくがい  
 おてん  
 おもなが  
 おんけい  
 かいさつ  
 かおく  
 かくさく



□ 順応 ( )	
□ 定規 ( )	
□ 装束 ( )	
□ 正念場 ( )	
□ 成仏 ( )	
□ 触発 ( )	
□ 所望 ( )	
□ 代物 ( )	
□ 真紅 ( )	
□ 振興 ( )	
□ 心底 ( )	
□ 浸透 ( )	
□ 神道 ( )	—は日本古来の信仰だ
□ 素足 ( )	
□ 垂直 ( )	
□ 索性 ( )	
□ 頭上 ( )	
□ 歳暮 ( )	
□ 是正 ( )	
□ 相似 ( )	
□ 操縦 ( )	
□ 息災 ( )	無病—
□ 組織 ( )	
□ 率先 ( )	

じゅんのう
じょうぎ
しょうぞく
しょうねんば
じょうぶつ
しよくはつ
しよもう
しろもの
しんく
しんこう
しんそこ
しんとう
しんとう
しんとう
すあし
すいちよく
すじよう
ずじよう
せいぼ
ぜせい
そうじ
そうじゆう
そくさい
そしき
そっせん

□ 存亡 ( )	危急—
□ 待遇 ( )	
□ 大望 ( )	
□ 俵 ( )	—を持ち上げる
□ 断食 ( )	
□ 仲裁 ( )	
□ 兆候 ( )	
□ 丁度 ( )	
□ 著者 ( )	
□ 著名 ( )	
□ 痛切 ( )	
□ 都合 ( )	
□ 都度 ( )	
□ 体裁 ( )	
□ 天然 ( )	
□ 道化師 ( )	
□ 湯治 ( )	
□ 遠浅 ( )	
□ 読経 ( )	
□ 納屋 ( )	
□ 熱湯 ( )	
□ 背後 ( )	

そんぼう
たいぐう
たいもう
(たいぼう)
たわら
だんじき
ちゆうさい
ちようこう
ちようど
ちよしゃ
ちよめい
つうせつ
つごう
つど
ていさい
てんねん
どうけし
とうじ
とおあさ
どきよう
(どつきよう)
なや
ねつとう
はいご



○特別な読み方をするもの

□行脚	(	)
□息吹	(	)
□海原	(	)
□乳母	(	)
□独楽	(	)
□今昔	(	)
□詩歌	(	)
□使役	(	)
□時化	(	)
□数珠	(	)
□内裏	(	)
□山車	(	)
□仲人	(	)
□氷雨	(	)
□布団	(	)
□吹雪	(	)
□紅葉	(	)
□山羊	(	)

—のような手

---

あんぎゃ
いぶき
うなばら
うば
こま
こんじゃく
しいか
しえき
しけ
じゆず
だいら
だし
なこうど
ひさめ
ふとん
ふぶき
もみじ
やぎ

---





## チャレンジコーナー

同じ熟語でも、使われ方によって読みが変わることがあります。次の——線部の熟語はどのように読むでしょうか。

オランダは風車の多い国で有名だ。  
子どもが風車を手にして遊んでいる。

ふうしゃ  
かぎぐるま

北海道の知床には貴重な生物がたくさん住んでいる。  
生物なので冷蔵庫で保存してください。

せいぶつ  
なまもの

マルコポーロは日本を黄金の国と呼んでいた。  
イチョウの葉が黄金色になっている。

おうごん  
こがね

一目会ったときから好意を持っていた。  
彼はクラスの中で一目おかれている。

ひとめ  
いちもく

A氏は書道の大家として知られている。  
アパートの大家さんに家賃を払った。

たいか  
おおや

今日はとても暑かったね。  
今日の社会は様々な問題をかかえている。

きょう  
こんにち

ごみはきちんと分別して出しましょう。  
分別のある行動をとる。

ぶんべつ  
ぶんべつ

部屋に入ると人気はなく、寒々としていた。  
歌手のIさんの人気はうなぎのぼりらしい。

ひとけ  
にんぎ

牛の飼育頭数は北海道が最も多い。  
野球をやれるだけの頭数がそろった。

とうすう  
あたまかず

市場価格を調べる。  
港の近くの市場で新鮮な魚を買う。

しじょう  
いちば

大相撲の春場所が初日をむかえた。  
初日の出を拝む。

しよにち  
はつひ

社内は社長派と専務派に二分された。  
二分以内に計算問題を解く。

にぶん  
にぶん

日本列島に梅雨前線が近づく。  
六月の雨量が少なく、空梅雨のもようだ。

ばいう  
つゆ

次から次へと衣装をかえ、まさしく七変化だ。  
日本は四季の変化に富む。

へんげ  
へんか

黄色い色紙でつるを折る。

プロ野球選手が色紙にサインをしてくれた。

下手なことを言うとうそがばれる。

俳優が舞台の下手にさがっていった。

下手に出ていればいい気になりやがって…。

柱が根本から折れる。

それは根本的な問題だ。

小人の入園料は五百円です。

ガリバーは小人の国にやってきた。

一言一句聞きもらさないようにした。

あの人はいつも一言多いので知らわれる。

秋の山へ紅葉狩りに出かける。

カエデの葉が紅葉する。

言い合いになると彼の方が上手だ。

上手の手から水がもれる。

舞台の上手から女優が現れた。

いろがみ  
しきし

へた

しもて

したて

ねもと

こんぼん

しょうにん

こびと

いちごん

ひとこと

もみじ

こうよう

うわて

じょうず

かみて

このように複数の読み方を持つ熟語がほかにもないか考えてみましょう。